

私たちが体験しました！

小さい子に接するの
が好きで、保育士さ
んに憧れています。
お仕事が体験できる
貴重な機会なので、
頑張ります！

中学3年生 蒼さん

幼稚園がとても楽し
かった記憶があります。
今日は一緒に遊んで子
どもたちが喜んでくれたらうれ
しいなと思います。

中学1年生 青さん

中学生記者が仕事を体験！

むさしの 仕事図鑑



保育士

ってどんな仕事？

就労などにより家庭で子育てが
できない保護者に代わって、就
学前の子どもの保育を行います。
食事、着替え、睡眠などの生活
の援助や心身を育む遊びの提供、
保護者への連絡、相談対応など
業務は多岐にわたります。



「どうして体験したいと思ったの？」と
園長先生からの質問も

まずは園長先生の レクチャーから！

保育士の仕事内容や勤務形態などの説
明と、周りの状況をよく確認すること
などの注意事項を聞きました。「人生
の先輩としてステキなものを示して
ください」というメッセージをもらい、
さらにモチベーションがアップ！

1 お昼寝の布団の片付けを体験

寝起きの子どもたちに「おはよう」と
笑顔でいさつして体験スタート。こ
の日は土曜日。週末にはシーツを各家
庭で洗濯することになっているため、
子どもたちが布団からシーツを剥がし、
持ち帰る準備をするのを手伝います。



子どもと一緒にシーツをクルクル丸めます

シーツを剥がした布団は、
畳んで廊下の押し入れへ

ここで体験！



武藏野市子ども協会 桜堤保育園

昭和37年開園。散歩や園庭遊びな
ど、屋外での活動を多く取り入れ、
体力増進を図りながら、自然や文化、
社会への好奇心を育てる保育を実践。
園庭の畑でサツマイモを栽培するな
ど、食育にも力を入れています。

桜堤2-1-27 TEL : 0422-52-4671

大平さん どんなに小さくても一人
一人に思いがります。お友達をた
たいてしまうなど、一見困った行動
にみえても必ず理由があるんです。

青さん すごい！子どもたちと接
するに当たつて大事にしていること
は何ですか？

大平さん どうなに小さくても一人
一人に思いがります。お友達をた
たいてしまうなど、一見困った行動
にみえても必ず理由があるんです。

青さん いつ頃から保育士になりた
いと思っていましたか？

大平さん 実は、元々保育士を目指
していたわけではありません。別の
仕事に就いた後に結婚・出産し、子
育てをするうちに、子どもと関わる
ことがすごく楽しいと思うようにな
りました。それで、自宅近くの保育
園でパートとして働き始め、子ども
の成長を支える保育士の仕事の重要
性を感じたことから勉強を開始し、
保育士の資格を取得しました。

蒼さん いつ頃から保育士になりた
いと思っていましたか？

大平さん 実は、元々保育士を目指
していたわけではありません。別の
仕事に就いた後に結婚・出産し、子
育てをするうちに、子どもと関わる
ことがすごく楽しいと思うようにな
りました。それで、自宅近くの保育
園でパートとして働き始め、子ども
の成長を支える保育士の仕事の重要
性を感じたことから勉強を開始し、
保育士の資格を取得しました。



子どもたちが
自分で考え、実現する
経験を重ねていけるよう、
一緒に体を動かし、
楽しみながら成長を
見守っています

公益財団法人
武藏野市子ども協会
桜堤保育園 園長
大平郁子さん



2 子どもたちの遊びを補助

全員に目が行き届くように保育士同士で連携して位置取りをし、一緒に遊びながらも、常に子どもたちの動きに注意を払います。おもちゃの取り合いで手が出る前に声を掛けるなど、次に起きることを予測してトラブルを回避。



3 おやつの配膳・補助を体験

おかわりの対応や成長に応じたサポートを行います。手伝う際は、「切ってもいい？」など、その子の意思を先に確認。「サクサクしてるね」「どんな味？」など、食への関心を引き出す会話で楽しい雰囲気づくりも心掛けます。



手伝いすぎるのはNG。子どもができることだけ補助します



食べ終わったら口を拭いて、ごちそうさまでした！

体験を終えて

水道やイスが低くてかがむことが多いなど、意外な大変さを知ることができました。個性の違う子どもたちが一緒に行動しなければいけない場面もあって、保育士さんはすごいと思います。(蒼さん)



保育士さんが何でもやってあげていると思っていた。でも、子どももそれぞれやりたいことがあって、一人一人の気持ちを尊重しながら保育しているんだなと新たな学びになりました。(青さん)

大平さん 子どもの成長を感じる瞬間を教えてください。

蒼さん 日々のお仕事で喜びを感じられない子どもの思いをしっかりと成長や、保護者が安心された様子を垣間見られた時ですね。また、言葉にならない子どもの思いをしっかりと受け止められたと実感できた瞬間は、「君の気持ちが分かってよかつた！」と、うれしくなります。

大平さん 子どものちょっととした成長や、保護者が安心された様子を垣間見られた時ですね。また、言葉にならない子どもの思いをしっかりと受け止められたと実感できた瞬間は、「君の気持ちが分かってよかつた！」



「髪の毛を結んで」というリクエストも



子どもが集中しているときは、見守ることも大切

大平さん 大人に言われたからやるのではなく、自分で選択したり、考えられることが大切です。給食が嫌だと言うなら、「お友達が一緒に食べたいって待ってるよ」と声を掛けれるなど、子どもが主体的にそこに向かえる働き掛けを心掛けています。

蒼さん 保護者との関わり合い大切にしていることはありますか？

どんな気持ちだったのかを探り、寄り添うことを大事にしています。

青さん みんなと一緒に行動するのが苦手な子には、どう対応していくですか？